

名古屋大学全学同窓会 岐阜支部 Newsletter No.3

NAGOYA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION (NUAL) GIFU BRANCH

令和5年(2023)8月

<http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/gifu/index.html>

編集人 伊藤義人

itoh@civil.nagoya-u.ac.jp

令和5年度名古屋大学全学同窓会岐阜支部総会・交流会・講演会特集

はじめに

名古屋大学全学同窓会岐阜支部の令和5年度の支部総会・交流会・特別公開講演会が、令和5年5月16日(土)に、JR岐阜駅に隣接する「じゅうろくプラザ」で開催されました。総会は、対面とZoomによるオンラインのデュアルモード開催となりました。特別公開講演会も、対面とYouTubeによる同時開催となりました。特別公開講演会は、3年前に企画し、コロナ禍で断念したもので、天野先生を講師として呼び出してリベンジしたものでした。特別公開講演会の後半では、天野先生と高校生や高専生とのパネルトークセッションを行いました。

総会は、対面出席者43名(41名申込、2名欠席、4名当日参加)、オンライン1名(10名申込)でした。特別公開講演会は、対面出席者200名(217名申込、34名欠席、17名当日参加)で、オンライン参加は70~80名(96名申込)でした。多くの高校生や高専生の参加もあり、天野先生からも大変楽しかったという感想をいただきました。

令和5年度名古屋大学全学同窓会岐阜支部総会・交流会・講演会次第

令和5年5月16日(土) 11:00~16:30

第一部：総会・交流会(じゅうろくプラザ5F大会議室)

開会の辞 小笠原文雄(岐阜支部長)

来賓挨拶 杉山 直(名古屋大学総長)

松尾清一(東海国立大学機構長)

議事 活動方針、会計報告、監査報告

記念撮影

交流会昼食と懇談おたのしみ企画

第二部：特別公開講演会(じゅうろくプラザ2Fホール)

講演題目 「SDGsに貢献する新しい半導体」

講師 天野 浩(名古屋大学未来材料・システム研究所)

未来エレクトロニクス集積研究センター長・卓越教授)

パネルトーク座長(小笠原支部長)・講師(天野先生)・高校生・高専生



総会受付



左から

松尾機構長，小笠原支部長，杉山総長

第1部 総会・交流会

1. 小笠原支部長挨拶



小笠原支部長から、第2回講演会として2020年6月6日に企画して、コロナ禍で延期になっていた天野浩先生の特別公開講演会を含む、岐阜支部総会・交流会・講演会を、対面と遠隔のデュアルモードで開催できることの喜びがまず述べられました。名古屋大学全学同窓会の設立理念に従って、岐阜支部は大学と社会をつなぐ社会貢献を今後とも継続したいとの挨拶がありました。

2. 杉山総長挨拶

杉山直総長から、ご挨拶がありました。まず、豊田章一郎前同会長のご逝去に対して哀悼の意が示されました。名古屋大学の取り組みや、教育研究の成果等を紹介する学外向けの広報誌N Discoveryを引用され、卒業・学位授与者数の累計が197,532名であることなどを示されました。名大の歴史、教育・研究、国際連携（104ヶ国学生）、サステナブルキャンパス、総長自由闊達通信などについて説明された。



3. 松尾機構長挨拶

松尾清一機構長は、国の大学改革の変化について説明されました。世界における日本の大学のプレゼンスの停滞と国への依存度の低下について話されました。東海国立大学機構設置のボーナス期間は終了しつつあり、大規模なフロンティア事業の必要性に触れられました。創薬など最先端の研究・教育を進めるための設備導入や施設建設に充てる環境投資として100億円の「サステナビリティ債」を発行するということでした。



4. 議事



司会：山田邦夫幹事



秋山晶則事務局長



議長は、山田邦夫幹事が行いました。秋山晶則事務局長によって議事説明が行われました。以下の2つの議案は、まとめて審議され、拍手で承認されました。支部役員について資料が示されましたが、今年度は任期中という説明がありました。

《総会資料》

議案1. 活動方針（案）

名古屋大学全学同窓会岐阜支部は、全学同窓会と協力し、全学同窓会の理念に従った活動として、年1回の総会・情報交換会を行うとともに、社会への情報発信につながる企画を立案・実行する。

議案2. 会計報告・監査報告

*** 2022年度決算**

収 入		
(費目)	(金額)	(内訳)
繰越金	272,043	銀行270,562/現金1,481
利息	2	
全学同窓会	50,000	
総会協力金	195,000	
寄付金	5,000	
収入総計	522,045	

支 出		
(費目)	(金額)	(内訳)
総会会場費	108,500	設備費共
振込手数料	550	
事務費	7,780	文具・胸章・印刷費
繰越金	405,215	銀行393,564/現金11,651
支出総計	522,045	

*** 2023年度予算 (案)**

収 入		
(費目)	(金額)	(内訳)
繰越金	405,215	
総会参加費	200,000	
収入総計	605,215	

支 出		
(費目)	(金額)	(内訳)
総会会場費	380,000	設備費・配信経費共
交流会費	100,000	弁当・景品代
事務費	10,000	印刷・通信費
繰越金	115,215	
支出総計	605,215	

2022年度 会計監査報告書


名古屋大学全学同窓会岐阜支部
支部長 小笠原 文雄 様

2022年度名古屋大学全学同窓会岐阜支部会計について、収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿・関係証票等を監査した結果、いずれも適正に処理、記載されていると認めます。

以上

2023年5月1日

名古屋大学全学同窓会岐阜支部

監事 伊藤 義人 

岐阜支部役員

支部長 小笠原 文雄 (医学部) 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック理事長



監事	伊藤 義人 (工学部)	名古屋産業科学研究所上席研究員/名古屋大学名誉教授/ 岐阜高専名誉教授 (名古屋大学全学同窓会副会長)
幹事	大西 隆信 (文学部)	名古屋大学文学部同窓会幹事
	内山 文雄 (経済学部)	大垣キワニスクラブ相談役
	北川 秀夫 (工学部)	国立岐阜工業高等専門学校教授
	西村 今日子 (文学部)	森松工業株式会社監査役 (名古屋大学全学同窓会副会長)
	星野 香 (理学部)	元名古屋大学教員
	山田 邦夫 (農学部)	岐阜大学応用生物学部教授
会計幹事	太田 裕之 (法学部)	十六 TT 証券代表取締役社長
事務局長	秋山 晶則 (文学部)	岐阜聖徳学園大学教育学部長



伊藤 義人



内山 文雄



大西 隆信



北川 秀夫



西村 今日子



星野 香



山田 邦夫



太田 裕之



秋山 晶則

5. 記念撮影

議事の終了後に参加者全員の記念撮影が行われました。



6. 交流会

1) 議事終了後、大西隆信幹事が司会をして交流会が開催されました。まず、30分程度の昼食をとり、その後名刺交換を行いました。



大西隆信幹事



小笠原支部長と浜田道代先生



2) 学会から片岡代議員と関東支部の岸事務局長から挨拶がありました。



片岡学会代議員



岸関東支部事務局長

3) その後、大抽選会が行われました。杉山総長と松尾機構長によって、番号札が抽選され、7名が記念品を獲得され、各人から短い挨拶がありました。



4) 最後に、藤田訓弘氏の音頭で、「若き我等」と「伊吹おろし」を合唱して、交流会は終了しました。



藤田訓弘氏



前に出て合唱する参加者

第2部 特別公開講演会

天野浩先生をお迎えして、講演題目「SDGsに貢献する新しい半導体」の講演をいただきました。
小笠原支部長が座長をされ、最初に杉山総長のご挨拶をいただきました。



小笠原支部長（座長）

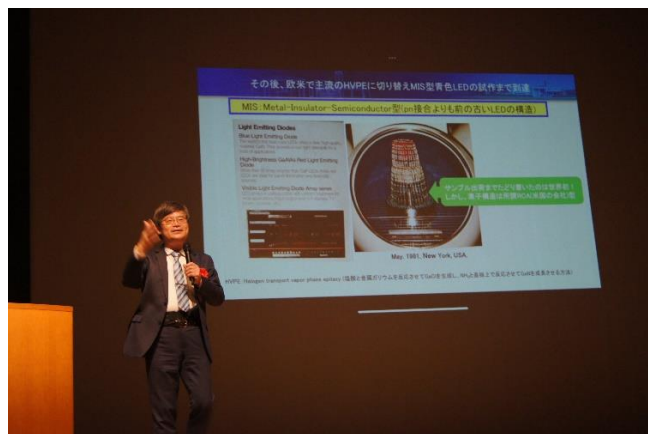


杉山総長



特別公開講演会参加者

天野先生は、多くのスライドを使って、高校生を意識した講演をされました。



講演項目は以下のようでしたが、大変わかりやすい図表を用いた素晴らしい90分間の講演でした。

- 1) 窒化ガリウム (GaN) の SDGs への貢献
- 2) 故赤崎勇先生と青色 LED
- 3) 私 (天野先生) の GaN との出会い. 手作り実験装置による GaN 結晶の作製
- 4) p 型半導体への挑戦, p n 接合青色 LED の実現
- 5) 深紫外線 LED による水殺菌システムと空気清浄化
- 6) GaN : 青色 LED から空飛ぶ自動車へ. パワーデバイスの開発

講演後、天野先生と小笠原座長を囲んだ高校生4名と高専生2名とのパネルトークセッションが行われました。



高校生・高専生とのパネルトークセッション



記念写真

パネルトークセッションでは以下のようなやり取りなどがありました。途中で、杉山総長、松尾機構長、木村副総長もトークに参加されました。

- 1) 大学に入る前に何をしたらよいか。 → 数学は役立った。
- 2) 研究テーマの発見法は。 → 問題に出会ったときは楽しみで、チャレンジでテーマを延ばす。
- 3) 研究上で重要なことは。 → 集中力と自分のやりたいように指導を受けた。共用の装置や自作の装置を使った。
- 4) 勉強のモチベーションは。 → やりたいことを。面白いから。大学に入ると状況が変わる。
博士号を取るためには学术论文を書く必要がある。
- 5) 日本と米国の研究の違い。
- 6) 工学に進んだ理由。
- 7) 太陽光パネルのリサイクルが大きな課題。
- 8) 東大と名大のどちらが進学によいか。

パネルトークセッション終了後も、天野先生と記念撮影をする高校生もいました。



最後に、天野先生と名古屋大学全学同窓会岐阜支部の役員との記念写真を撮りました。



編集後記

令和4年12月に実質第2回目の岐阜支部の総会・講演会・交流会が開催され、その半年後に今回の総会・交流会・特別公開講演会が開催され、岐阜支部 NewsLetter No.3 を編集しました。総会・交流会への参加者が予想より少ないのは、前回総会から半年しかたっていないことや連休中での開催が理由とされます。次回の総会への反省事項となっています。岐阜支部 NewsLetter に対するご意見や適切な記事がありましたら、岐阜支部の e-mail（岐阜支部 E-mail：2019nugaa@gmail.com）にご連絡ください。

編集人